

企業概要

- 和洋紙の専門商社として昭和21年設立。紙、紙製品の卸売業等を営む。
- ウェブサイトでオーダー手提げ袋制作事業「手提屋（てさげや）」を立ち上げ。
- 長野県の企業と協力し、自然豊かな環境・観光県としての地域ブランドイメージを支援。

企業情報	
企業名	株式会社水島紙店
代表者	水島康明氏
設立年	1946年
資本金	2,200万円
従業員	14人
本社所在地	長野県長野市高田420
事業概要	紙及び紙製品卸他
電話番号	026-227-4131

SDGs達成を通じた取組

【経緯・背景等】

産業構造の変化により新聞用紙などの印刷用紙の生産量が減少し、同時に廃プラスチックの海洋汚染問題に起因する世界規模の脱プラスチックの動きの中でビニール袋から紙袋に変更する取組が広まりつつある。この2つの環境変化を捉え、かつ長野県において紙袋を専門に制作する企業がなかったことから、同社は「卸売業」という従来のビジネスモデルに捉われずに強みを生かした新規事業を立ち上げ、「紙のプロとデザイナーがお客様と対面で制作するオーダー手提げ袋」というブランド・アイデンティティを掲げてオーダー手提げ袋制作事業「手提屋」を開始。

【具体的な取組、製品・サービス】

- 店舗で使用する袋をポリから紙に切り替える「紙袋プロジェクト」を開始。令和元年10～12月の3か月間の間に長野市・須坂市・中野市において100店舗を訪問。（飲食業、建設業、農業、食料品や雑貨、衣料品などの小売業）

【取り組んだ成果・効果】

- SDGsの切り口が強い後押しとなり、創業期以来となる販路開拓に成功。42社には少なくとも存在を認知され、最終的にプロジェクトへ参加した38社とは今後も顧客化へのコミュニケーションを継続の予定。今後もデザイン性、強度や防水などの機能性、コストの課題など現場の声に耳を傾けながら紙袋プロジェクトを継続予定。
- 長野県SDGs推進企業登録制度へ登録。
- SDGsの提唱に即した事業として、メディア取材や教育団体での講演依頼が増加。認知を広めることに成功。

【貴社にとってのSDGsと、その展望】

- SDGsは環境、社会、経済の各分野において対外的、対内的な経営指標となっています。社会に必要な企業として業種を超えた事業活動を目指しています。



同社制作オリジナル手提袋
(同社資料より)